

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 1細胞遺伝子発現解析による組織微小環境情報の構築
2. 研究代表者： 橋本 真一（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 特任教授）
3. 中間評価結果

本課題では、1細胞由来の mRNA にランダムにバーコードをつける技術を用いて、組織から数千以上の1細胞の遺伝子発現解析を、位置情報を保持したまま行うシステムの構築を目的としている。

基礎的技術の構築は予定通り進んでおり、1細胞遺伝子解析に必要な微量組織採取装置の製品化に向けて開発が進められている点は評価できる。また、実際に動物モデルやヒト切除材料からの情報の検討により、細胞の位置および発現量の観測が可能であることが示されており、癌組織における多様性、免疫細胞の変化などの検討を進めることで、新分野の開拓や創薬等への展開が期待される。

今後は、各グループ間での議論を通して積極的に連携を進め、チーム全体としての相乗効果を期待したい。また、解析対象とする組織を明確にし、それに基づいた研究計画の検討を進めていただきたい。さらに、国際プロジェクトの参加を通して本手法の優位性や利点を検討することで、本技術の実証と展開の加速を期待したい。